

青森市健康福祉審議会条例の一部を改正する条例案について

1 制定理由

平成27年4月から実施予定の子ども・子育て支援新制度においては、中核市の区域内に所在する幼保連携型認定こども園の設置について、当該中核市の長が認可することとされたことから、中核市に条例で幼保連携型認定こども園の設置の認可等に関する事項を調査審議するための審議会を設置することとされた。

保育所の設置の認可等については、「青森市健康福祉審議会」で審議することとしており、幼保連携型認定こども園についても保育所と同様に、同審議会で審議することとするため、所要の改正をするものである。

また、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布されたことに伴い、社会福祉法の一部が改正され、健康福祉審議会の委員定数に関する規定が削除されたことから、青森市健康福祉審議会条例で、委員定数を定めるため、所要の改正をするものである。

2 条例案の内容

青森市健康福祉審議会の調査審議事項に、「幼保連携型認定こども園に関する事項」を追加する。

また、青森市健康福祉審議会の委員定数を50人以内と定める。

3 施行期日

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行の日（平成27年4月1日予定）。ただし、委員定数に係る部分は、公布の日。

青森市健康福祉審議会条例の一部を改正する条例の制定について

青森市健康福祉審議会条例の一部を改正する条例を次のように定める。

平成二十六年 月 日提出

青森市長 鹿内 博

青森市健康福祉審議会条例の一部を改正する条例

青森市健康福祉審議会条例 平成十八年青森市条例第四十三号)の一部を次のように改正する。

第三条に次の一項を加える。

2 審議会は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律 平成十八年法律第七十七号)第二十五条の規定に基づき、幼保連携型認定こども園 同法第二条第七項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。以下同じ。)に関する事項を調査審議するものとする。

第九条を第十条とし、第五条から第八条までを一条ずつ繰り下げ、第四条を第五条とし、同条の前に次の一条を加える。
(組織)

第四条 審議会は、委員五十人以内をもって組織する。

附 則

施行期日)

1 この条例は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律 平成二十四年法律第六十六号)の施行の日から施行する。ただし、第九条を第十条とし、第五条から第八条までを一条ずつ繰り下げ、第四条を第五条とし、同条の前に一条を加える改正規定は、公布の日から施行する。

経過措置)

2 この条例による改正後の青森市健康福祉審議会条例第三条第二項の規定による調査審議 幼保連携型認定こども園の設置等の認可に係るものに限る。)は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

~~~~~◇~~~~~

#### 提案理由

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、青森市健康福祉審議会における調査審議事項に、幼保連携型認定こども園に関する事項を追加する等のため、提案するものである。

青森市健康福祉審議会条例 新旧対照表

| 新【改正後】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 旧【改正前】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>第一条～第二条 略</p> <p>(調査審議事項の特例)</p> <p>第三条 審議会は、法第十二条第一項の規定に基づき、児童福祉に関する事項を調査審議するものとする。</p> <p><b>2 審議会は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号）第二十五条の規定に基づき、幼保連携型認定こども園（同法第二条第七項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。以下同じ。）に関する事項を調査審議するものとする。</b></p> <p><b>(組織)</b></p> <p><b>第四条 審議会は、委員五十人以内をもって組織する。</b></p> <p>(任期等)</p> <p>第<b>五</b>条 審議会の委員の任期は、三年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>2 委員は、再任されることができる。</p> <p>3 臨時委員の任期は、当該臨時委員の任命に係る特別の事項に関する調査審議が終了するときまでとする。</p> <p>(委員長の職務の代理)</p> <p>第<b>六</b>条 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。</p> <p>(会議)</p> <p>第<b>七</b>条 審議会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。</p> <p>2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。</p> <p>3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、</p> | <p>第一条～第二条 略</p> <p>(調査審議事項の特例)</p> <p>第三条 審議会は、法第十二条第一項の規定に基づき、児童福祉に関する事項を調査審議するものとする。</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>(任期等)</p> <p>第<b>四</b>条 審議会の委員の任期は、三年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>2 委員は、再任されることができる。</p> <p>3 臨時委員の任期は、当該臨時委員の任命に係る特別の事項に関する調査審議が終了するときまでとする。</p> <p>(委員長の職務の代理)</p> <p>第<b>五</b>条 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。</p> <p>(会議)</p> <p>第<b>六</b>条 審議会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。</p> <p>2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。</p> <p>3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、</p> |

可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 4 臨時委員は、当該特別の事項について会議を開き、議決を行う場合には、前二項の規定の適用については、委員とみなす。

(専門分科会)

第**八**条 審議会の専門分科会（民生委員審査専門分科会を除く。以下この条において同じ。）に属すべき委員及び臨時委員は、委員長が指名する。

- 2 審議会の各専門分科会に専門分科会長を置き、当該専門分科会に属する委員及び臨時委員の互選によってこれを定める。

3 専門分科会長は、当該専門分科会の事務を掌理する。

- 4 専門分科会長に事故があるとき、又は専門分科会長が欠けたときは、あらかじめ専門分科会長の指名する委員又は臨時委員がその職務を代理する。

(準用規定)

第**九**条 前条第二項の規定は、民生委員審査専門分科会について準用する。この場合において、同項中「委員及び臨時委員」とあるのは、「委員」と読み替えるものとする。

- 2 前項において準用する前条第二項の規定により民生委員審査専門分科会に置かれる専門分科会長については、同条第三項及び第四項の規定を準用する。この場合において、同項中「委員又は臨時委員」とあるのは、「委員」と読み替えるものとする。

(委任)

第**十**条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則 略

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律（平成二十四年法律第六十六

可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 4 臨時委員は、当該特別の事項について会議を開き、議決を行う場合には、前二項の規定の適用については、委員とみなす。

(専門分科会)

第**七**条 審議会の専門分科会（民生委員審査専門分科会を除く。以下この条において同じ。）に属すべき委員及び臨時委員は、委員長が指名する。

- 2 審議会の各専門分科会に専門分科会長を置き、当該専門分科会に属する委員及び臨時委員の互選によってこれを定める。

3 専門分科会長は、当該専門分科会の事務を掌理する。

- 4 専門分科会長に事故があるとき、又は専門分科会長が欠けたときは、あらかじめ専門分科会長の指名する委員又は臨時委員がその職務を代理する。

(準用規定)

第**八**条 前条第二項の規定は、民生委員審査専門分科会について準用する。この場合において、同項中「委員及び臨時委員」とあるのは、「委員」と読み替えるものとする。

- 2 前項において準用する前条第二項の規定により民生委員審査専門分科会に置かれる専門分科会長については、同条第三項及び第四項の規定を準用する。この場合において、同項中「委員又は臨時委員」とあるのは、「委員」と読み替えるものとする。

(委任)

第**九**条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則 略

号)の施行の日から施行する。ただし、第九条を第十条とし、第五条から第八条までを一条ずつ繰り下げ、第四条を第五条とし、同条の前に一条を加える改正規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の青森市健康福祉審議会条例第三条第二項の規定による調査審議(幼保連携型認定こども園の設置等の認可に係るものに限る。)は、この条例の施行の日前においても行うことができる。